

○“ことば”であるイエス様の三つの姿

1. イエス様は_____ (3)

▶「すべてのもの」

▶「造られた」

※コロサイ 1:16

「なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。」

※ヘブル 1:2-3

「この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。」

「星でつくられた原子は、星の最期の超新星爆発によって、宇宙空間に飛び散りました。その原子がガスやちりとなって再び集まり、太陽が誕生して、その周囲にたくさんの微惑星ができました。微惑星が衝突・合体して、46億年前に地球が誕生しました。」(研究機関)

※ローマ 1:19-20

「それゆえ、神について知られることは、彼らに明らかです。それは神が明らかにされたのです。神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。」

「十字架に架けられたお方は、万物の創造主でした。私たちのために幼子として来られたお方は、無限なる存在でした。一体どれほど、この方はご自分を低くされたことでしょうか！これほどまでにご自分を低くされた方は、どれほどの高みにおられたのでしょうか！」(チャールズ・スポルジョン)

※詩篇 121:1-2

「私は山に向かって目を上げる。私の助けは、どこから来るのだろうか。私の助けは、天地を造られた主から来る。」

2. イエス様は_____ (4a)

※創世記 2:7

「神である主は土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで人は生きものとなった。」

※ヨブ 1:21

「そして言った。「私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」

※エペソ 2:1-3

「あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中であってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。私たちがみな、かつては不従順の子らの中であって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。」

※ヨハネ 6:47-48

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。信じる者は永遠のいのちを持ちます。わたしはいのちのパンです。」

※ヨハネ 11:25

「イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」

3. イエス様は_____ (4b-5)

「やみはこれに打ち勝たなかった。」ここでヨハネは完了した行動を示す動詞を使っています。闇はできる限りのことをすべて行いました。闇は策を練り、陰謀を企てましたが、ついには手立てが尽きました。どれほど闇が努力しても、光は依然として輝き続け、打ち負かされることはありません。なんと素晴らしい真理でしょう！イエス・キリストは今もなおこの暗い世界で輝いています。その光を今もなお見ることができるのです。」

※ヨハネ 8:12

「イエスはまた彼らに語って言われた。「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」」